

大阪ガス本社・支社所在地および電話番号

本社・ガスビルサービスセンター	〒541 大阪市東区平野町5丁目1	☎大阪 06 (202) 2221
南支社	〒557 大阪市西区玉出東2丁目9番41号	☎大阪 06 (852) 0001
北支社	〒532 大阪市淀川区十三本町3丁目6番35号	☎大阪 06 (301) 1251
堺支社	〒590 堺市住吉南町2丁目2番19号	☎堺 0722(38) 1131
北摂支社	〒589 高槻市藤の里39番6号	☎高槻 0726(71) 0361
阪神支社	〒662 西宮市和上町4番11号	☎西宮 0798(26) 3101
東部支社	〒578 東大阪市福東2丁目3番17号	☎河内 0729(62) 1131
京阪支社	〒573 枚方市西田宮町1番17号	☎枚方 0720(41) 1251
神戸支社	〒650 神戸市中央区相生町5丁目13番10号	☎神戸 078(576) 5231
京都支社	〒604 京都市中京区烏丸御所南町358	☎京都 075(231) 8151
奈良支社	〒631 奈良市学園北2丁目4番1号	☎奈良 0742(44) 1111
和歌山支社	〒640 和歌山市本町1丁目1	☎和歌山 0734(31) 2481
姫路支社	〒670 姫路市神屋町4丁目8	☎姫路 0792(85) 2221
姫路支社	〒675 加古川市加古川町栗津29-1	☎加古川 0794(21) 1801
豊岡支社	〒668 豊岡市三坂町6丁目57番地	☎豊岡 07962(3) 2221
湖南支社	〒625 津市通分町字筒地680の1	☎津 0775(82) 5311
彦根支社	〒522 彦根市大東町12番11号	☎彦根 0749(22) 3131
(長浜営業所)	〒528 長浜市南兵衛町3番4号	☎長浜 07496(23) 7171

その他当社サービスステーション、およびサービスショップ

大阪ガス株式会社

841006



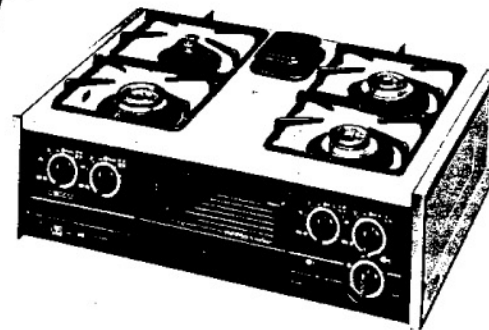
大阪ガス

ガス テーブルコンロ

取扱説明書 10-803型

保証書付

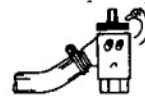
型式名 RSU-500G-2



ガス器具をお使いになるときのご注意



ガスゴム管も
とどき点検
よいゴム管を
ガッチリと



ガス器具を
お使いになった
あとは必ず
もとコックを
閉める習慣を



毎日使う
ガスコンロの
バーナーなど器具も
とどきお手入れを



ガス器具は
ガスの種類にあった
正しいものを

●ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
なお、ご不明な点があればお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ごあいさつ

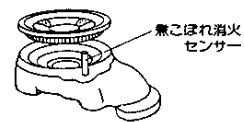
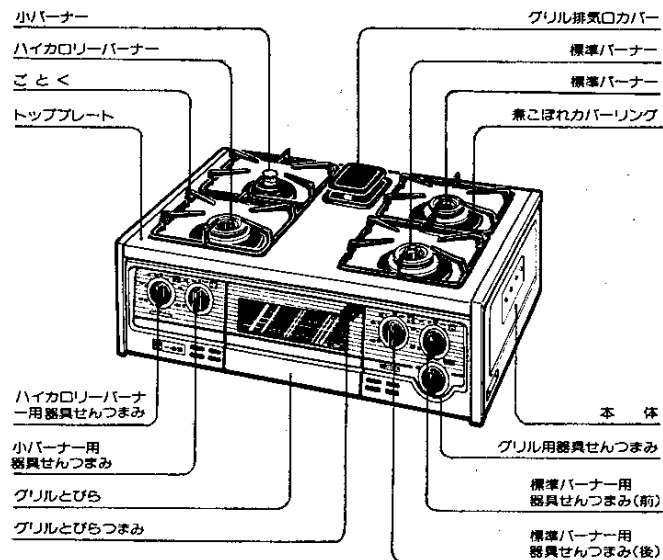
このたびは、大阪ガスのガステーブルコンロをお求めいただきありがとうございました。

別添の保証書とともに、この「取扱説明書」を大切に保存してください。

もくじ

- 各部の名称..... 1
- 特に注意していただきたいこと..... 2
- 器具の設置..... 8
- 使用手順..... 12
- 使用時のご注意..... 16
- 煮こぼれ消火センサーについて..... 17
- 煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法..... 17
- 日常の点検・手入れ..... 18
- 故障・異常の見分け方と処置方法..... 21
- 長期間使用しない場合..... 22
- アフターサービスのお申し込み..... 22
- 特 長..... 23
- 外形寸法図と仕様一覧表..... 24
- 別売部品のご紹介..... 25

各部の名称



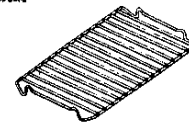
煮こぼれなどで火が消えたときに30秒から1分以内にガスを自動的に止めます。

●付属品

グリル水入れざら



グリル焼網



グリル用とって



グリル排気口カバー



ゴム唇ホルダー



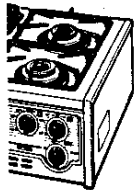
特に注意していただきたいこと

安全に正しくお使いいただくために、この項は必ずお読みください。

使用ガスについてのご注意

- ガスの種類を確かめてください。

ガス器具本体の右側面にはついている銘板(ラベル)に表示のガスの種類とお宅のガスが一致しているかをまず確かめてください。



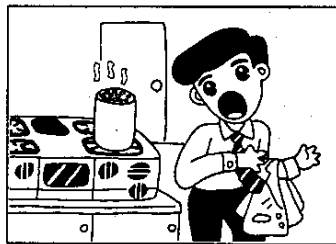
メーカー型式
ガスの種類およびグループ
ガス消費量
製造年月および製造番号
製造業者名

- 都市ガス用6C
- 都市ガス用6A
- 都市ガス用13A
- LPガス用

- ガスの種類には都市ガスとLPガスとがあり、都市ガスにはガスグループの区分があります。
- 転宅されたときにも、供給ガスの種類と器具銘板のガスの種類の一致を必ず確かめてください。

用途についてのご注意

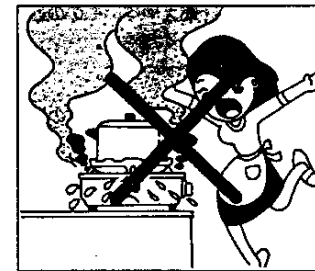
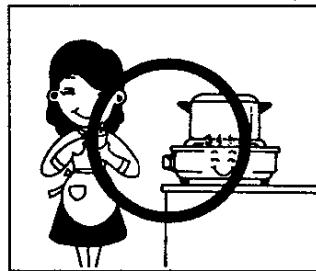
- 調理以外の用途(炭・練炭おこし・衣類の乾燥など)には使用しないでください。
過熱・異常燃焼などによる焼損・火災などの危険があります。



特に注意していただきたいこと②

市販の補助用具使用についてのご注意

- 極端に大きな鉄板やなべ、熱を逃がさないようにするためのなべ枠、または不良の補助用具などで炎をふさいで使うことはさけてください。
不完全燃焼をおこしたり、器具を異常に過熱し危険です。



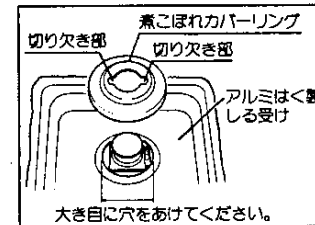
- トッププレートの上のしる受け部の上に市販のアルミはく製しる受けを敷いてお使いになる場合は、しる受け部に十分なじむようにしてお使いください。

- アルミはく製しる受けの穴は煮こぼれカバーリングの穴より少し大きめにあけてください。

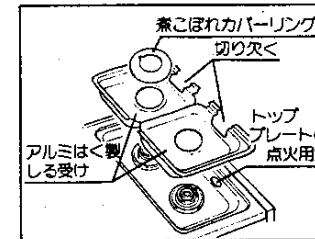
特にリバーナーの場合は大きくあけてください。煮こぼれカバーリングの切り欠きをふさぐと点火しなくなります。

- ハイカロリバーナー及び標準バーナーの場合はしる受け部横についている点火用穴にかからないように大きく切り欠いてください。

- アルミはく製しる受けを敷いた上から煮こぼれカバーリングを取り付けてください。この時煮こぼれカバーリングが浮き上らないように押しつけて十分なじませてください。



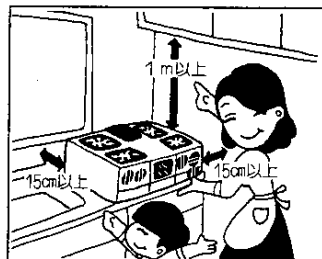
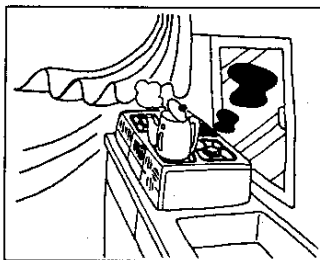
大き目に穴をあけてください。



特に注意していただきたいこと③

使用場所についてのご注意

- 強い風の吹き込む所では使用しないでください。
炎が風で吹き消えることがあります。
- カーテンや、燃えやすいものの近くでは使用しないでください。
燃え移る危険があります。
- たなの下など、落下物の危険のあるところでは使用しないでください。
- テーブルコンロの周囲が木材のような可燃性の壁面の場合は、過熱を防ぐため左右及び後面ともに15cm以上、上方は1m以上離してお使いください。
- 上記の距離がとれない場合は、必ず別売の防熱板を取り付けてください。
壁が長期間加熱されると比較的低温でも自然発火することがあります。



使用上のご注意

ガス漏れ予防

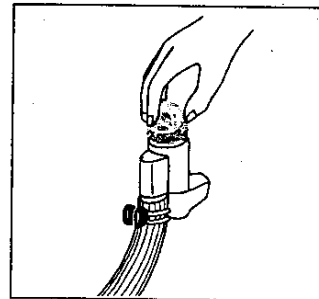
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、ビニール管は絶対に使用しないでください。
ビニール管は弾力性がなく、熱にも強くありません。
- ゴム管は良質のものを買い、ときどきとりかえてください。(おとりかえの目安は約3年です)
ゴム管が古くなりますと、ガス元せいや器具のホースエンドから抜けやすくなったり、ヒビ割れてガス漏れの原因になり危険です。



特に注意していただきたいこと④

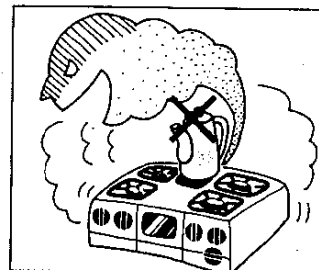
使用上のご注意

- 器具をご使用にならないときや外出前、またおやすみ前には万一の事故がないように、必ずガス元せいを閉めてください。
- 使用中は決して外出しないでください。
カラ焼きになるなど思わぬ事故の原因になります。
- 使用後は必ず器具せいを閉じ、消火したことを確かめてください。
- 使用中はときどき正常に燃焼していることを確かめてください。



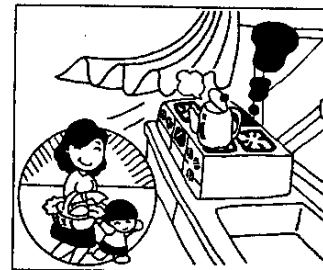
火災予防

- グリル使用中はグリル排気口の上に物をのせないでください。
不完全燃焼や異常過熱の原因になります。
- 器具の上やそばに燃えやすいもの(紙、カーテン、家具、揮発油など)を絶対に近いり近づけたりしないでください。



外出などについてのご注意

- 火をつけたまま就寝、外出は絶対にしないでください。
カラ焼きになるなど思わぬ事故の原因となり危険です。
- 天ぷらなど油料理の場合は、火をつけたまま場所を離れたり、加熱しすぎないようにしてください。
温度が上がりすぎると、油が自然発火し、火災の原因となります。

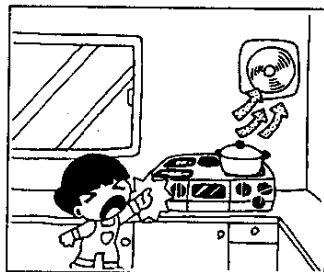


特に注意していただきたいこと⑤

使用上のご注意

やけどのご注意

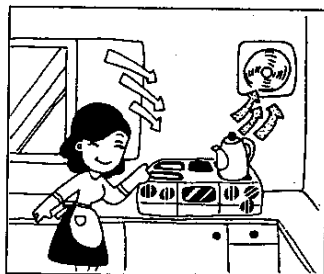
- ご使用中および使用直後は、器具本体とその周辺は熱くなりますので、手を触れたりしないでください。特に小さなお子様がいるご家庭はご注意ください。またグリルをお使いになるときは、排気口から高温の排気熱が出ますので、顔などを近づけないでください。



- ご使用中グリル水入れざらを出し入れされる場合は、必ず付属のグリル用とつてをお使いください。ぬれふきんなどで持つとやけどするおそれがあります。

換気のご注意

- ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。ガスが正しく燃えるためには、ガスの6~10倍もの空気が必要です。しめきった部屋で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

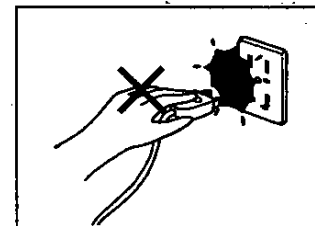


特に注意していただきたいこと⑥

使用上のご注意

ガス事故防止

- ガス漏れに気づいたときは、すぐ使用をやめてガス元せんを閉じ、窓や戸を全部あけて、大阪ガス支社または大阪ガスサービスステーションに連絡してください。



〈ご注意〉

万一ガスが漏れたときは、絶対に火をつけたり換気扇その他の電気器具にふれたりしないでください。(スイッチの入・切や電源プラグの抜き差し等) 火や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

異常時の処置

- ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときはそのままお使いにならず、直ちにご使用を中止(器具せん、ガス元せん閉止)して十分な点検をお願いします。(故障・異常の見分け方と処置方法については21ページをお読みください)

日常の点検・手入れ

- 器具を安全、快適にお使いいただくために、日常の点検、手入れは必ず行なってください。(詳しくは18ページをお読みください)
- 故障又は破損したと思われるものは使用しないでください。不完全な修理は危険です。
- 万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご連絡ください。

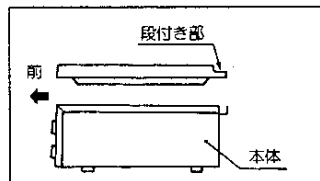
器具の設置

設置前の準備と確認

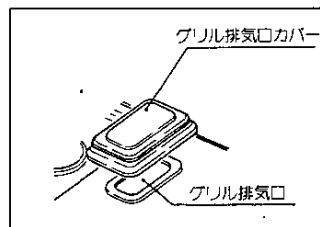
- 各部分のあて紙や包装部品を取り除き、各部の名称、のように正しく組立ててください。
- 器具銘板の表示ガス(ガスグループ)とご使用になるガスとが一致しているかご確認ください。

部品の取り付け

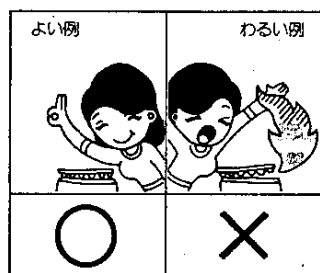
- トッププレートは段付き部が後になるようにし本体に正しくのせてください。



- グリル排気口カバーはグリル排気口の上に正しくのせてください。



- バーナートップはギザギザが下になるようにはめ込んでください。まだバーナー本体より浮き上らないように2~3回バーナートップを回して確実にハマっているか確認してください。

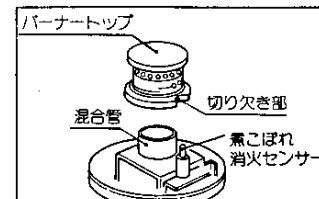


<ご注意>

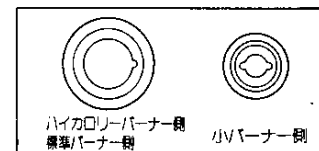
バーナートップはハイカロリバーナー、標準バーナー、小バーナーの3種類となっていますので間違いないように取り付けてください。

器具の設置②

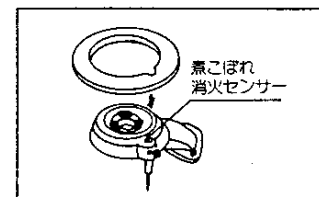
- 小バーナーの取り付けは左後にある混合管へさし込んでください。そのときバーナートップに切り欠きがありますので、この切り欠き部が煮こぼれ消火センサーの位置にくるように正しくはめ込んでください。またバーナートップを軽く押え確実にハマっているか確認してください。



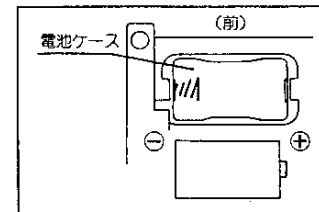
- 煮こぼれカパーリングは2種類あります。外形の大きいものをハイカロリバーナー及び標準バーナーに取り付けてください。外径の小さいものを小バーナーに取り付けてください。



- また煮こぼれカパーリングは一部に切り欠きがありますがハイカロリバーナー及び小バーナー側ではこの切り欠き部分が煮こぼれ消火センサーの位置にくるようにして正しくはめ込んでください。標準バーナー側はこの切り欠きがどこにあってもかまいません。



- 点火用の電池は電池ケース(器具下部の左前にあります)にはめ込んでください。電池は単1(1.5V)1個使用です。



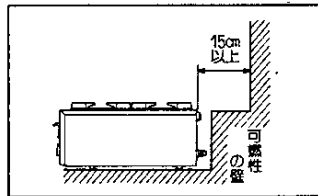
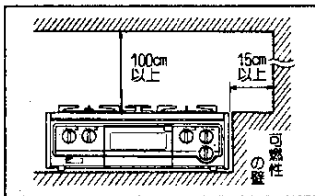
<ご注意>

- 電池が正しくセットしてあり、電池が消耗していない場合は点火操作時に電池確認ランプが明るく光ります。
- 電池確認ランプが点滅したり光らなくなったら電池が消耗していますので点火しにくくなります。新しい電池におとりかえください。乾電池の寿命の目安は約1年です。(SUM-1型を使用した場合)
- ペアフリー型下部ユニット(コンパクト、コンビネーションなど)と組み合わせられる場合は下部ユニットのトッププレート(天板)を引き抜くと容易に電池交換ができます。

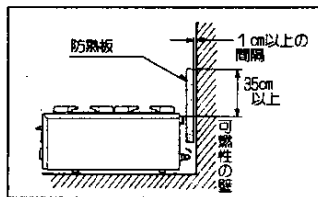
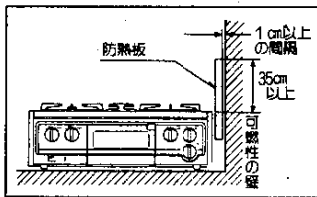
器具の設置③

設置上のご注意

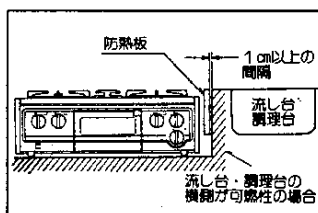
- 丈夫で水平なガス台上に設置してください。
- 耐久性などの点からできるだけ湿気の少ないところを選んでください。
- 周囲に可燃物(木製の壁、たななど)のある場合
- トッププレートより上の側面及び背面は木製のような可燃性の壁から15cm以上離してください。可燃性の壁にステンレス板などを張ってある場合も同様です。また上部は器体上面から100cm以上離して使用してください。(火災予防条例で定められております)



- 可燃性の壁(ステンレス板などを張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合
- 図のように必ず別売の防熱板を取り付けて使用してください。(15-100-0084-8)



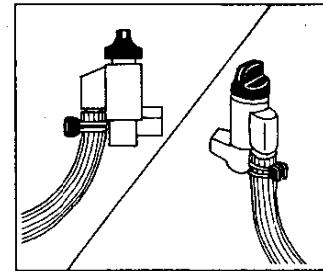
- 可燃性の壁面の高さが35cm以下の場合
は図のように取り付けてください。



器具の設置④

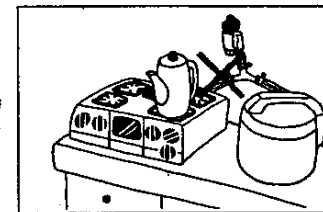
ゴム管の接続

- ゴム管は赤線まで差し込んでしっかりと止めてください。都市ガス用は13mmφ(内径13mm)・LPガス用は9.5mmφ(内径9.5mm)のゴム管を使用し、ガス元せん・器具のホースエンドともホースエンドの赤線まで十分差し込んで、ゴム管止めでしっかりと止めてください。ゴム管止めでしっかりと止めていないと、知らずにはずれかかってガス漏れが生じることがあり危険です。



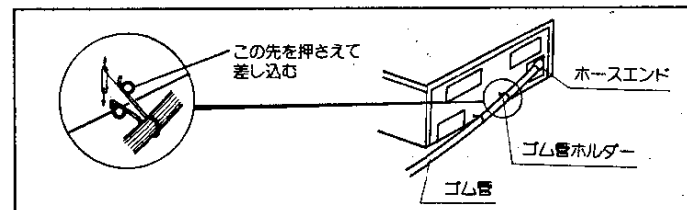
- ゴム管はガス用ゴム管を用い、折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短かくし、また器具の下を通したり、器具に触れないようにしてご使用ください。

- ゴム管の継ぎたしおよび二又分岐はしないでください。



- ガス元せんは都市ガス用の場合は13mmφ用、LPガス用は9.5mmφ用ガス元せんを使用してください。

- ゴム管が器具後部を横切る場合は、付属のゴム管ホルダーにゴム管を通し、図のように器体後部の穴に差し込んで固定してください。



使用手順

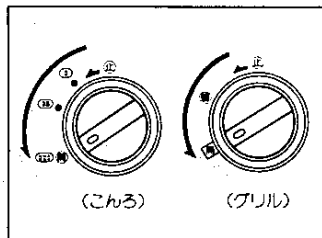
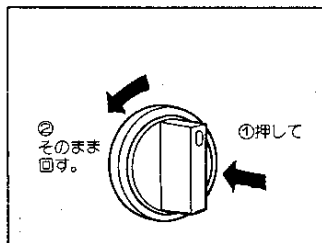
はじめてお使いのとき

- はじめてお使いになるときは、必ずグリル水入れさらに水を入れ、換気をしながら12～15分のから焼きをしてください。油を焼ききるため、煙が出て異常ではありません。

点火前の準備と確認

- 器具の近くに紙、プラスチック、油類など燃えやすいものが置いていないことを確認してください。
- 器具せんつまみが「止」の位置にあることを確認したのち、ガス元せんを全開にしてください。
- グリルをお使いになるときは、グリル水入れさらに水(コップ1杯強 約200cc)を入れてください。

点火(こんろ部・グリル部)



- 器具せんつまみを押しながら左(㊸の方向)へいっぱい回してください。電池確認ランプがついて「パチパチ」とスパークして点火します。
- 点火を確かめてから手をはなしてください。(途中で手を休めると点火しないことがあります)

<ご注意>

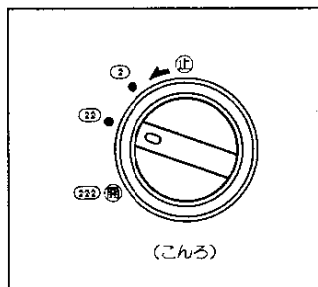
- 万一点火しないときは、器具せんつまみを一旦もとに戻して、あらためて点火の操作をしてください。
- 点火しても手を離して消火する場合は、再び点火したのち手を離す前に器具せんつまみを一旦強く押しつけてください。
- しばらく使わないで点火するときはゴム管内に空気が入って点火しにくいことがあります。この場合は空気が抜けるまで数回点火操作を繰り返してください。
- グリル使用時は必ず2本のバーナーに火移りしたことを確かめてから手を離してください。

使用手順②

空気調節

- 空気調節の必要のない構造になっております。点火したらそのままお使いください。

火力調節

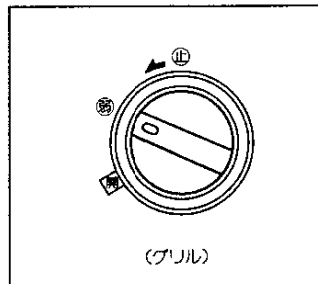


●こんろ部

- 火力切り替え式の器具せんにより、火力の調節が容易にできます。(㊸)が「全開」(㊹)が「中火」(㊺)が「小火」になっています。(㊸)位置より(㊹)、(㊺)の位置にするとときは、それぞれの位置で「カチッ」と音がして軽く止まります。
- 火力マークの間でも使用できます。

<ご注意>

- (㊺)と(㊸)の間で使用するときには炎が小さく消えやすくなりますのでご注意ください。
- (㊺)から(㊹)の位置にするときは、一旦(㊸)の位置まで回してから(㊹)の位置に戻してください。
- (㊸)から(㊺)の位置にするときは器具せんつまみをゆつくり回してください。



●グリル部

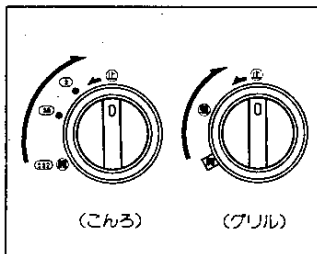
- グリルは(㊸)または(㊹)の位置でお使いください。(㊸)の位置では「カチッ」と音がして軽く止まります。

<ご注意>

- (㊸)と(㊹)の間では使用しないでください。消火や不完全燃焼の原因になります。

使用手順③

消火(こんろ部・グリル部)

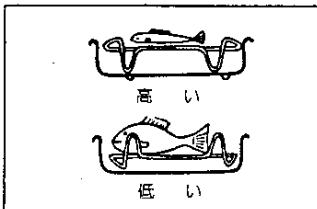


- 器具せんつまみを押さないで右へいっぱい「止」の位置まで完全に回して消火してください。

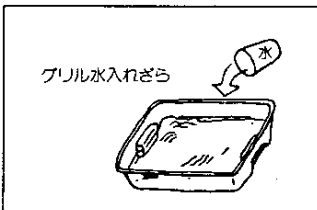
〈ご注意〉

- 必ず火が完全に消えたか確認してください。
- 消火後すぐにご使用になる場合は、数秒程まってから点火してください。
- 長時間使用されないとき(就寝時、外出時など)は、器具せんつまみを閉めるだけでなく必ずガス元せんも閉めてください。
- 消火直後は火傷のおそれがありますので器具に手を触れたり移動させないでください。

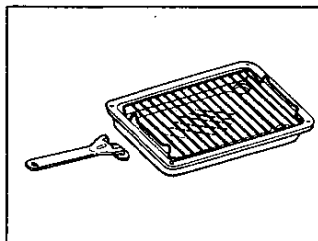
グリル部の使い方



- グリル水入れざらはグリルケースの底におき、奥にあたるまで入れてお使いください。
- グリル焼網はグリル水入れざらの中に入れてお使いください。
- グリル焼網は足の高さが変えてありますので、焼物の種類・大きさにより高い低いのいずれかにしてご使用ください。大きい魚などを焼くときは低い方にしてご使用ください。
- グリル使用時は必ずグリル水入れざらに水を入れてください。(コップ1杯強 約200ccが適量です)
- グリル水入れざらに水を入れる場合は、一旦グリルとびらをあげ、グリル水入れざらをグリル用として少し引き出してからコップなどで入れてください。いっばいに引き出しすぎないようにご注意ください。なおとびらに水をこぼさないようにご注意ください。



使用手順④



- 焼物はグリル焼網に合った大きさに切り、グリル焼網にのせて焼いてください。
- グリル焼網はかならず付属のグリル用として、グリル水入れざらとつしよに出し入れしてください。

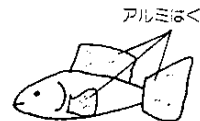
上手なグリルの使い方

●予熱

- 表面のこげやすいもの(つけ焼き・照焼き・かず漬けなど)や、火の通りの悪い魚などは予熱しないでそのまま焼いてください。
- それ以外の魚や肉は、点火後3分～5分は予熱し、強い火になってから材料を入れてください。またこの際グリル焼網にサラダ油を塗って同時に熱しておくとも材料がくっつきにくく、きれいに焼き上がります。

●魚焼きのコツ

1. 魚は水洗いしたらよく水をふきとってください。
2. こげやすい部分やヒレなどには厚目に塩を振りかけておくか、アルミはくで包んでおくとかげ方が少なくなります。
3. 一般に、塩を振ったらすぐに焼いてください。塩がしみ込みすぎると材料の風味がなくなり、塩っぽくなります。
4. 魚はほどよい焼き色になったら裏返して焼き上げ、そのまま盛りつけてください。(裏面は表面より早い時間で焼き上がります)



- 続けてグリルを使用する場合は、グリル水入れざらの水がなくなっていないかたしかめてください。水がなくなると煙が出たり、グリル水入れざらにたまった脂が燃えることがあります。水を補充したりする場合、熱いとびらガラスに水がかからないようにご注意ください。とびらガラスが割れることがあります。

使用時のご注意

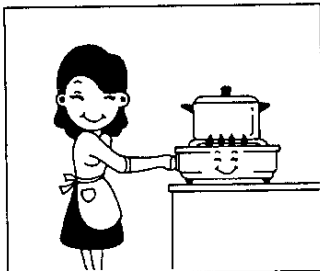
- 煮こぼれはバーナーや器具を早くいだめますのでご注意ください。(一度煮立ったら、沸騰がつづく程度の火力にしてご使用ください)

煮こぼれたときは、必ず完全にふきとってください。

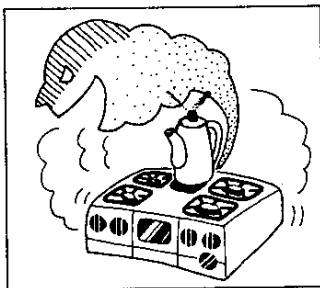
煮こぼれて炎口がつまると炎が逆流して、器具の内部で燃えるおそれがあり危険です。



- 点火の際は、こんろになべやヤカンをかけて点火し、全部の炎口に点火したことを確かめてください。



- グリル使用中、グリル排気口の上に物をのせないでください。不完全燃焼や異常過熱の原因になります。



- 炎の形や色の変化に気をつけてください。炎が異常に大きかったり、ふぞろいで首をたてたりすることがないようによく見てご使用ください。

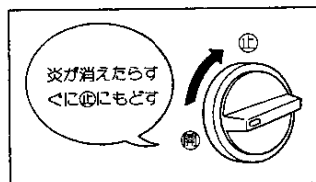
煮こぼれ消火センサーについて

- 煮こぼれ消火センサーは煮こぼれや風などで火が消えた時にガスを自動的に止める装置です。
- この器具に付いている煮こぼれ消火センサーは点火時に数秒押し続ける必要のないクイックセッター方式です。点火及び火移りを確かめればすぐ手を離しても大丈夫です。

＜ご注意＞

- 乾電池が消耗するとクイックセッターが働らなくなります。点火時に電池確認ランプが明るく点灯しなくなったら乾電池を新しいものに取りかえてください。
- 点火時に手を離すと消火する場合は次のようにしてください。
電池が新しい時………手を離す直前に一旦強く押しつけてください。
電池が消耗している時………電池を交換するまでの間は点火後3～5秒間つまみを押し続けることによりお使いいただけます。

煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法



- 使用中バーナーが消火したときは、すぐに器具せんつまみ・お部屋のガス元せんを「止」の位置にもどし、21ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」及び、次の方法により処置してください。

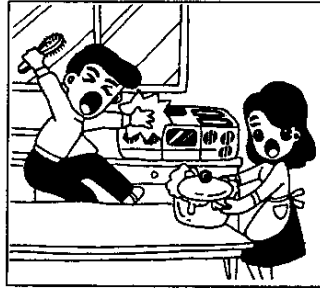
● 処置方法

- バーナーの火が消えたときは煮こぼれ消火センサーが働いて自動的にガスが止まりますが完全に止まるまでに少し時間がかかります。(30秒～1分間程度) バーナーの消火に気づいたときは、すぐに器具せんつまみを㊸の位置に戻してください。
- 再点火される場合は、周囲にガスがなくなるまでしばらく(数分)待ってから「使用手順」に従って点火してください。

日常の点検・手入れ

点検・手入れの際のご注意

- 点検・手入れについては、下記の日常の点検以外は大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に依頼してください。
- 点検で異常を見つけられたときは、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社に修理を依頼してください。
- 点検・手入れの前には必ずガス元せんを閉じ、器具が冷えてから行なってください。



点検

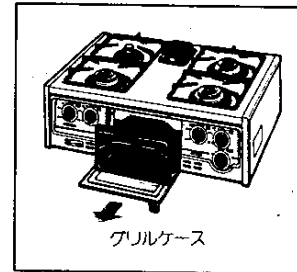
- 安全にお使いいただくためにときどき点検してください。
- ゴム管はガス用ゴム管を使用し、器具およびガス元せんともホースエンドの赤線まで十分差し込み、ゴム管止めで止めてあります。
- ゴム管が器具に触れたり、折れたり、ねじれたり、熱気が当たったりしていませんか。
- ゴム管が古くなって、ひび割れしたり、差し込み口がゆるんでいるためにガスが漏れていないかときどき石けん水などで点検してください。
- 器具の近くに、紙・プラスチック・油類など燃えやすいものを置いていませんか。
- バーナートップ、ごとく、煮こぼれカバーリングなどが正しくセットされていますか。
- バーナートップの炎口が煮こぼれなどで詰っていませんか。
- グリル水入れざらに多量の脂がたまっていますか。(脂がたまったらそのまま使用しますと脂が燃えることがあります)

日常の点検・手入れ②

お手入れ

- ごとく・煮こぼれカバーリング・トッププレート・器体・グリル水入れざら・グリル焼網・グリルケース

- そのつどお手入れしていただくのがいちばんです。煮こぼれなどの汚れは湿った布でふきとってください。液状の洗剤を布にふくませて汚れを落としたり(器体の場合)、洗剤をふくませたナイロンたわしで洗っていただき(器体を除く場合)、お手入れ後はよくしぼった布で洗剤や水気を十分ふきとってください。



なお、グリルケースは簡単に引き出すことができます。(取り出す時は前の方を少し持ち上げて引き出してください)

〈ご注意〉

- お手入れのとき、器体内部機構に水がかからないようご注意ください。
- トッププレートは、ホーロー品ですのでかたいものをあてたりすると、きずがつく場合がありますので注意してください。

●グリルとびら

- ガラスに脂などが飛散した場合は、そのつどまだ暖いうちに汚れを落してください。

〈ご注意〉

- ガラスはミガキ砂や金属片、金タワシなどでこすらないでください。印刷がはげたり、キズをつけると割れる原因になります。

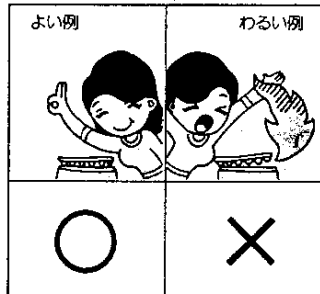
日常の点検・手入れ③

- バーナー(こんる用)
 - バーナートップを取りはずし、ブラシやキリ状のもので掃除してください。
- 目づまりなどで悪くなったバーナーは、取り替えていつもきれいな状態で使用してください。バーナーを目づまりさせたまま使用しますと、不完全燃焼をおこすことがあります。



〈ご注意〉

- バーナートップの水洗いはできるだけさけ、水洗いされた場合は必ず乾いた布で十分水気をとっておいください。
- バーナートップはハイカロリバーナー、標準バーナー、小バーナーの3種類となっていますので外された場合、間違いないように取り付けてください。
- バーナートップを取りはずされた場合は正しくセットしてください。(詳しくは8ページ 部品の取り付けの項をお読みください)
- バーナー本体の水洗いはやめてください。中がさびる原因になります。



- 煮こぼれ消火センサーは固いブラシなどでみがかないでください、故障の原因になります。また煮こぼれなどはすぐふき取るように習慣づけてください。性能が十分発揮できないだけでなく、寿命も短めます。
- 点火操作の火花の出る部分はさわらないでください。取り付け位置が狂いますと点火しなくなります。また火花の出る先端に手をふれたまま、器具せんつまみを操作しますと電気ショックを受けますからご注意ください。(ただし人体には害はありません)
- 器具内の配線にはさわらないでください。

故障・異常の見分け方と処置方法

ご使用中にふだんと違った状態になったときや、不都合が生じたときは、そのままお使いにならず、ただちにご使用を中止して十分な点検をお願いします。

現象	原因										処置方法	参照ページ
	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ	器具せんつまみ		
ガス元せんの開け忘れ・開き不十分	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	器具せんを一旦戻してからお部屋のガス元せんを全開にする。	12
ゴム管内に空気が残っている	○										ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作を繰り返す。	12
ゴム管内に空気が残っている	○										ガスが正常に出るまで十分注意しながら点火操作を繰り返す。	12
点火装置の電極部の汚れ	○			○							汚れを拭きとる。それでも直らないときは点検を依頼する。	12
バーナー炎口づまり・空気口づまり				○	○	○	○	○	○	○	つまみを取り除く。それでも直らないときは点検を依頼する。	20
バーナーの取り付け不良				○	○	○	○	○	○	○	点検修理を依頼する。	12
バーナートップの取り付け不良				○	○	○	○	○	○	○	正しく取り付け。	8
点火操作が適切でない	○										「使用手順(点火)」参照。	12
器具せんつまみがリングに接触				○							点検を依頼する。	12
点火装置のリード線の接続不良	○										点検を依頼する。	12
点火装置の故障	○				○						点検・修理・部品交換を依頼する。	12
器具の銘板と使用ガスが不一致				○	○	○	○	○	○	○	点検・修理を依頼する。	2
乾電池が消耗している	○	○									新品と交換する。	12
煮こぼれ消火センサーが作動	○									○	「煮こぼれ消火センサーが作動したときの処置方法」参照。	17
煮こぼれ消火センサーの故障	○									○	点検を依頼する。	12
器具せんのフィルターづまり	○			○						○	点検を依頼する。	12

処置方法や原因のわからないときは、お買い求めの販売店または大阪ガス支社へご連絡ください。

長期間使用しない場合

- 各部の汚れを取り除き、十分に乾燥したのちほこりなどの異物が入らないようにビニールをかけて、お求めになったときの箱に入れ、湿気やほこりの少ないところへ保管してください。特にガスの通路部分（ホースエンドなど）にはほこりが入って通路をつまらせないように注意してください。

アフターサービスのお申し込み

サービスのお申し込み

- 21ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項を見てもう一度ご確認ください。
- 確認のうえ、それでも不具合な場合、あるいはご不明な場合はご自分で修理なさらないでお買い上げの店またはもよりの大阪ガスサービスショップ、もしくは大阪ガス支社、サービスステーションにご連絡ください。なお、ご連絡いただくときは、次のことをお知らせください。
 - (1) 品 名……(テーブルコンロ)
 - (2) 品 番……左側面に張ってあります。(例)

(N) 10-803(U)

大阪ガス株式会社 03

- (3) 現 象……(できるだけ詳しく)
- (4) 道 順……(できるだけ詳しく)

転居される場合

- ガスには都市ガス14種類およびLPガスの区分があります。ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので、転居先のガスの種類を確認の上、大阪ガスサービスショップまたは大阪ガス支社にご相談ください。この場合調整・改造に要する費用は保証期間内でも有料修理となります。

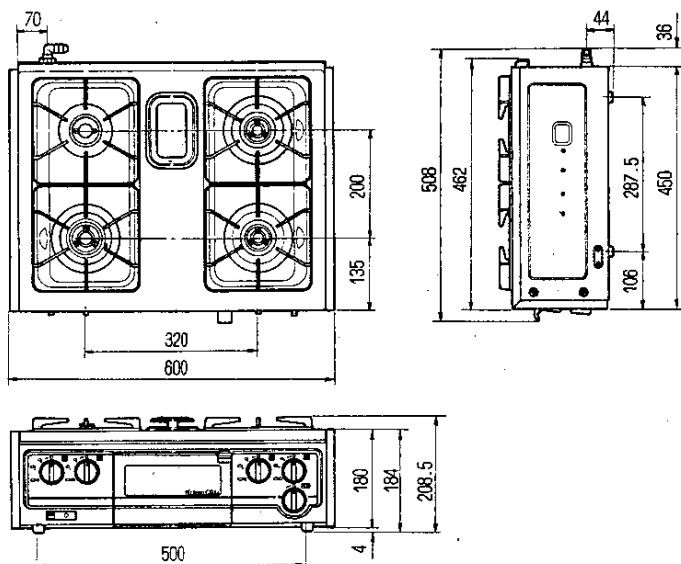
保証書について

- この器具には保証書がついています。このテーブルコンロは保証書に記載のように、器具の故障について修理いたします。詳しくは保証書をごらんください。保証書を紛失されると、無料修理期間であっても修理費をいただくことがありますので、この取扱説明書とともに大切に保管してください。

特 長

- 1** 点火は、電池による連続スパーク点火方式ですので、点火操作が軽快で確実です。電池の交換時期は電池確認ランプでお知らせします。
- 2** こんろの器具せんは、よく使用する強火・中火・弱火の位置に「カチッ」という音と軽い手応えで容易に合わせることが出来ます。
- 3** 煮こぼれ消火センサー付きですので、煮こぼれや風などでバーナーの火が消えたときは、ガスを自動的に止めます。火が消えてから自動的にガスが止まるまでに、30秒～1分程度かかります。煮こぼれ消火センサーは使いやすいクイックセッター方式です。従来型のように点火時に数秒間押し続けることは不要です。
- 4** グリルバーナーは赤外線バーナーですので、焼物の芯まで美味しく焼くことが出来ます。又、上火式のため煙がほとんど出ません。
- 5** トッププレートはホーロー製で美しく、またお手入れのしやすい構成になっています。
- 6** 煮こぼれカバーリング付きですのでバーナーとする受け部の間から煮汁が落ち込みにくくお手入れも簡単です。
- 7** 左こんろ前にはハイカロリーバーナー（火力が右こんろの40%アップ）が付いています。
- 8** 左こんろ後には保温やとろ火料理に適した小バーナーが付いています。

外形寸法図

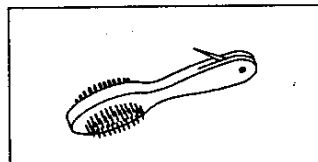


仕様一覧表

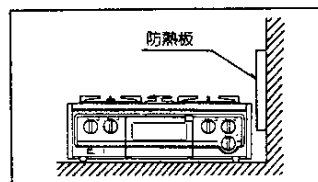
品名	10-803						
型式名	RSU-500G-2						
点火方式	連続スパーク点火方式						
外形寸法	高さ184mm(トッププレートまで)×幅600mm×奥行508mm						
重量(本体)	19kg						
使用ガス 使用ガスグループ	1時間当たりのガス消費量					ガス接続	
	個別ガス消費量				全点火時 ガス消費量		ガス用 ゴム管 13mmφ
都市ガス用	ハイカロリ バーナー	標準 バーナー	小バーナー	グリル			
	6C(kcal/h)	3200	2300	1200	1450	9700	
	6A(kcal/h)	2900	2300	1200	1450	9500	
	13A(kcal/h)	3200	2300	1200	1450	9900	
	LPガス用(kg/h)	0.24	0.176	0.075	0.12	0.78	ガス用ゴム管9.5mmφ

別売部品のご紹介

次の様な別売部品を用意しています。大阪ガス支社、サービスステーション、サービスショップでお求めください。



- 掃除ブラシ(494-100)
- バーナーが目づまりしたときに掃除していただくと安定した燃焼が得られ、効率よく安心して使っていただけます。



- 防熱板(コードNo: 15-100-0084~8)
- 設置場所で、可燃性の壁(ステンレス板等を張りつけた可燃性の壁も含む)から15cm以上離して設置できない場合、図のように取り付けて使用してください。

おねがい

ガスくさいときは、お部屋の元せんを開め、窓を全開にしてから(火気に注意して)、大阪ガス支社にご連絡ください。